

「チーム議会」を強化するために

伊万里市議会議長

盛 泰子

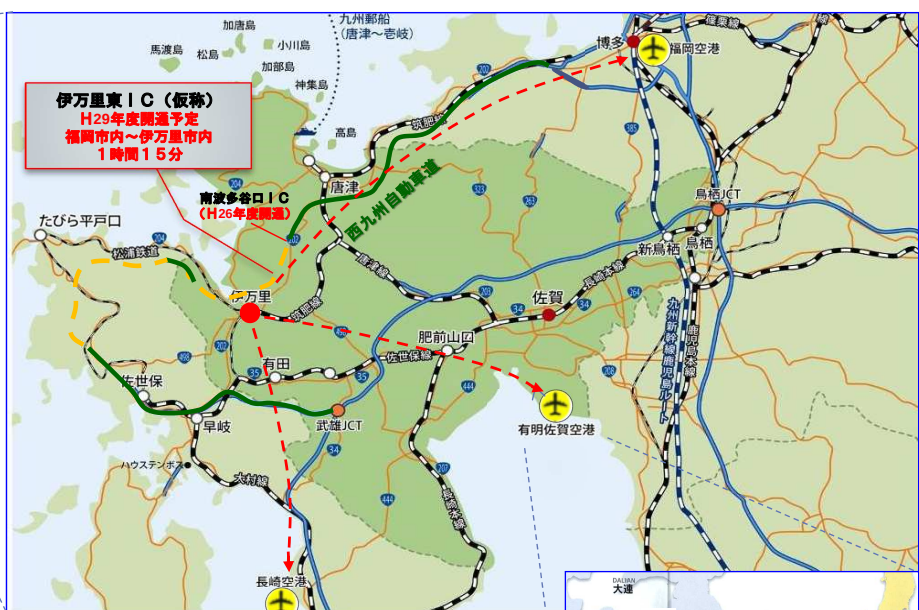


伊万里市のロケーション



【伊万里市のロケーション】

- 北部九州の西側（佐賀県の西部）に位置する。
- 西九州自動車道が市内まで延伸
⇒福岡市内まで1時間15分
- 3つの空港（福岡、有明佐賀、長崎）に1時間20分以内でアクセス
- 長崎自動車道（武雄北方IC）まで30分



アジアに近い「有明佐賀空港」

佐賀～羽田	毎日5往復
佐賀～成田	毎日1往復（LCC春秋航空）
佐賀～上海	毎週3往復（LCC春秋航空）
佐賀～ソウル	毎週3往復（LCCティーウェイ航空）



市議会の状況

①年代構成と当選回数

年代	議員数
30代	1
40代	2
50代	9
60代	11
70代	1
計	24

当選回数	議員数
1	7
2	7
3	4
4	4
6	1
7	1
計	24

②常任委員会の構成

総務委員会、文教厚生委員会、産業建設委員会

2

市議会の状況

③論点

- ・議員中、女性議員は一人
- ・未熟な会派制：1人会派×10、4人×1、5人×2
- ・男女比の是正
- ・年齢層や経歴なども多様である事が望ましい
- ・市民からの要望
 - ⇒定数削減。しかし、選挙は地域型
 - ⇒（少数）精鋭の議会になるため何をすべきか

◎これまでのやり方や慣習を打破する事が
議会の風土を変える事に繋がるのではないかな？

3

1. 「学ぶ」：研修の場づくり

- 議会（議長）には骨格予算がない
 - ⇒予算の補正による議会費増加はほぼ不可能
 - ⇒議長の裁量で工面できる予算
 - ・議長自身の政務活動費の活用
 - ・局長の随行を可能な限り減らす
- ★車の両輪である事務局職員も含めた「学びの場」をつくる
- 就任以来の半年間で3回実施
 - 講師：三谷 哲央さん・三重県議会議員
 - 目黒章三郎さん・会津若松市議会議長
 - 高沖 秀宣さん・議会事務局研究会共同代表

4

2. 「伝える」：定例記者会見

- 1回実施（平成27年10月）



- ⇒
 - ・ケーブルテレビで全てを放映
 - ・記者会見は、首長だけの専権事項ではない
 - ・議長が「議会の今」を語ることによって市民に少しでも身近な存在になるように

5

3. ささやかな取組み

○議長シナリオの修正：発言のタイミングが取りにくかった議長シナリオの表現を改める

○休憩を入れるタイミングの変更

○休憩時間の目途を明示

○執行部の柔軟な座席配置

- ・ 案件によっては部長・副部長・課長を横並びに

※委員長報告や意見書提出者への質疑は対面で

6

4. 今後へ向けて

○予算決算常任委員会の設置

○「学びの場」の定例化

○議会基本条例の制定に向けた検討

- ・ 市民は、意見交換の場を求めている！
- ・ 改革を後戻りさせないためにも！

7

★伊万里市民図書館へお出掛けください

○伊万里市民図書館設置条例

第1条 伊万里市は、すべての市民の知的自由を確保し、文化的かつ民主的な地方自治の発展を促すため、自由で公平な資料と情報を提供する生涯学習の拠点として、伊万里市民図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

